

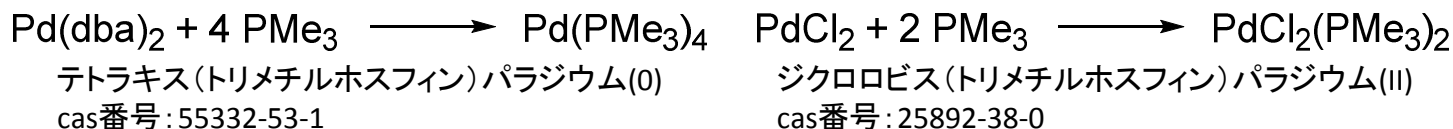
様々な反応で触媒として利用できる

トリメチルホスフィン金属錯体

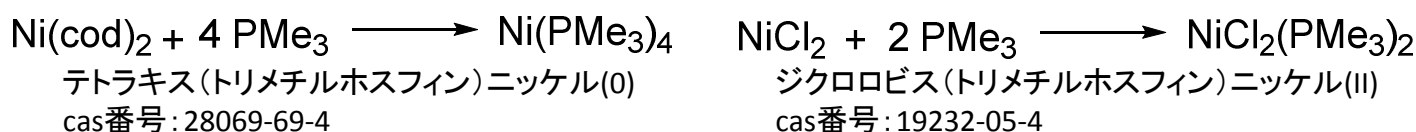
トリメチルホスフィンは、様々な金属と配位することで、金属錯体を形成し、触媒として作用します。トリメチルホスフィン—金属錯体の試作供給することが可能です。

錯体合成例

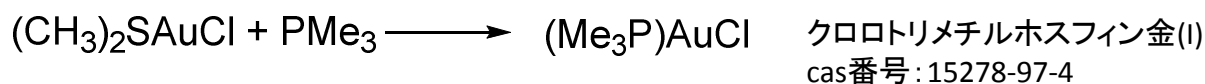
トリメチルホスフィン—パラジウム錯体合成例



トリメチルホスフィン—ニッケル錯体合成例



金錯体合成例



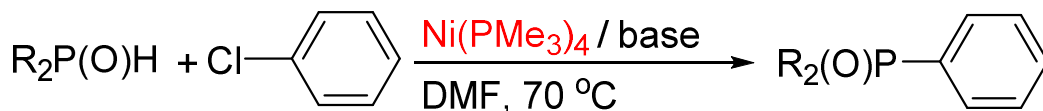
上記以外に、トリメチルホスフィンはチタン、コバルト、銅、ジルコニウム、ロジウム、銀、イリジウム、白金など多くの金属と配位し、トリフェニルホスフィンと同様に、様々な金属錯体を得ることが可能です。

金属錯体は非常に多くの用途に利用ができます。

(利用例)

- ・ 鈴木—宮浦反応 ・ 根岸反応 ・ 熊田—玉尾反応 ・ Stille反応
- ・ Buchwald-Hartwig反応 ・ 溝呂木—Heck反応 ・ 辻—Trost反応
- ・ 宮浦ホウ素化反応 ・ オレフィンメタセシス反応 ・ エンインメタセシス反応

(反応例) ニッケル錯体; $\text{Ni}(\text{PMe}_3)_4$ の調製とカップリング反応



R = Ph 90% isolated yield

Ni(PMe ₃) ₄	テトラキス(トリメチルホスフィン)ニッケル(0)		
	cas番号 28069-69-4	分子式 C ₁₂ H ₃₆ P ₄ Ni	分子量 363.0
	外観 黄~黄緑色の固体		
	空気と反応し、発火することがあります。不活性雰囲気下でご利用ください。シュレンク操作ができる溶液としての供給も可能です。お問い合わせください。		

配位子のトリメチルホスフィンも供給可能です。ご相談ください。

P事業推進室

〒660-0892 兵庫県尼崎市東難波町3-26-22

Tel. 06-6481-6782 / Fax. 06-6482-4056

URL : <http://www.katayamakagaku.co.jp>

Mail : webinfo3@katayamakagaku.co.jp